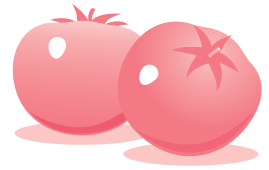


タキイ

トマト元気液肥[®]



アミノ酸・微量元素入りリン酸・カリ肥料

お薦めの理由

- カリの要求量が急激に高まる生育最盛期(右図)から、収穫後期まで、不足しがちなカリ成分を補うのに最適な液体肥料です。
- 吸収されやすい形の低分子アミノ酸配合により、食味の向上が期待できます。

使用例

育苗～定植期

- 育苗時に灌水の代わりにポットに灌注します。定植時に“弁当肥”として株元に灌注します。

↑
リン酸効果で新根の発生を促します。

本圃生育期

- 第2段花房開花頃より、着果促進・過繁茂防止に希釈液0.5～1.0L/株を目安として灌注します。
- 2段目以降は通常の液肥と交互に使用することで、根の活力を維持し、“成り疲れ”による空洞果や葉先枯れ症の予防効果が期待されます。
- 液肥中に豊富に含まれるカリがチッソの過剰吸収を抑え、過繁茂防止が期待されます。

※促成・抑制栽培などで、越冬時の低地温条件では根の活性が低下し、カリ成分の吸収が悪くなりがちです。保温マルチ等で地温を高め維持すると共に、当液肥を灌注すると更に効果的です。

使用方法

希釈倍率

200倍以上に希釈して施用します。
※葉先枯れ症予防には灌注が効果的です。

施肥時期

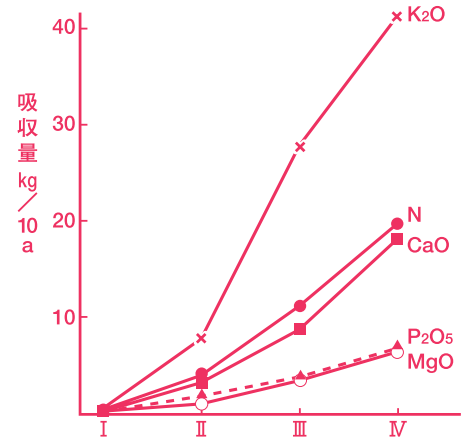
夏秋栽培:第2段花房開花頃より、以降は偶数段花房開花頃を目安に通常追肥と交互に追肥。
例:2段開花→トマト元気液肥、3段開花→通常液肥(チッソ成分入り)→4段開花→トマト元気液肥…

施肥量

灌注量は通常液肥と同量(1株あたり希釈液0.5～1.0L程度)とします。
※10a当り10kg入1ケース程度を、希釈して灌注施用するのが目安です。
※中玉トマト、ミニトマトにもお使いいただけます。

◎カリ成分はメロンやスイカ、またナスやキュウリでも多く吸収される重要な肥料成分です。

欠乏症が生じる前に、予防的な施用をおすすめします。



半促成トマトの時期別養分吸収量の変化(武井ら)

I:定植期

II:第一花房着果期

III:第一花房着色期

IV:全花房収穫終了期

使用上の注意: ※ご使用にあたっては、草勢(樹勢)や生育状況に合わせて適宜施用してください。

※点滴・灌水チューブで給液する場合は、チューブの目詰まりに注意してください。

チューブ内の洗浄やフラッシングバルブの取り付けにより軽減できます。

※農薬、石灰硫黄合剤などアルカリ資材とは混用しないでください。